

# 会 議 録

## 1 会議名

第7回柿崎区地域協議会

## 2 議題(公開・非公開の別)

### (1) 報告事項(公開)

ア 市からの報告

イ 会長報告

ウ 部会報告

### (2) 協議(公開)

### (3) その他(公開)

## 3 開催日時

平成26年9月26日(金)午後7時00分から午後8時15分まで

## 4 開催場所

柿崎区コミュニティプラザ3階 305・306・307会議室

## 5 傍聴人の数

0人

## 6 非公開の理由

なし

## 7 出席した者(傍聴人を除く。) 氏名(敬称略)

- ・ 委員：薄波清美、金子正一、木下高重、小池猛紀、小出優子、小関茂夫、小松美明、  
小山貞榮、佐藤 健、白井一夫、白井秀雄、曾田良治、長井泰雄、長井洋一、  
宮澤安雄、吉村 登、渡邊征雄
- ・ 事務局：小菅宏造柿崎区総合事務所長、横田一次長、永春勲参事、黒崎忠夫総務・地  
域振興グループ長、大橋靖夫産業グループ長、嶋田祐司建設グループ長、古  
田晴雄市民生活・福祉グループ長、福澤幸男総務・地域振興グループ班長、  
田鹿成美総務・地域振興グループ主事、寺田美子総務・地域振興グループ臨  
時職員
- ・ 木田庁舎：永野選挙管理委員会事務局長  
(以下グループ長はG長と表記)

## 8 発言の内容等

### 【横田次長】

定刻となりましたので、只今から平成26年度第7回柿崎区地域協議会を開会いたします。本日は、神岡委員が欠席で出席委員は17名です。上越市地域自治区の設置に関する条例第8条2項の規定により、会議が成立していることをご報告いたします。同条1項の規定によりまして議長は会長が務めることになっております。それでは佐藤会長、お願いいたします。

### 【佐藤会長】

皆様お疲れ様です。1日の仕事の後でお疲れのところではあるかと思いますが、これから第7回柿崎区地域協議会を開催させていただきます。それでは、しばらくの間、議長を務めさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

まず、本日の会議録の確認ですが、小関委員にお願いしたいと思います。よろしくお願ひします。

それでは、次第3報告事項に入ります。(1)市からの報告事項「投票所の見直し」について、木田庁舎から永野選挙管理委員会事務局長が来ておりますので、説明をさせていただきます。よろしくお願いいたします。

### 【永野事務局長】

～資料No.1-1、1-2により説明～

### 【佐藤会長】

ありがとうございました。只今、永野選挙管理委員会事務局長からご説明がありましたが、皆様から何か質問や意見等がありますか。

### 【吉村委員】

車社会とはいえ、車を持っていない方あるいは乗れない方が、現状よりも投票所が遠くなることで、行くことが出来ない人や行かない人が出てきて、投票率が下がるのではないかという懸念があると思うのですがその辺はどうお考えですか。

### 【永野事務局長】

計画を策定するに当たり、現状の投票所から最遠の有権者宅までの距離の範囲を超えないということを一つのルールにいたしました。そのような状態で、投票所で投票されている方がおられますので、特段の移動に伴う支援というのは当初は考えておりませんでした。

しかし、地域の皆様と意見交換をする中で、投票所までの距離が遠くなる方に対し配慮が必要なのではないかというご意見をいただきました。初めは、バスを運行させるという話もございましたが、バスを運行させることは、すでに県内2市において実施しており、時間に制約されるということで、利用が少なくなり苦慮しているという状況でございました。

したがって、私どもでは、投票日の3日前に1時間から2時間程度ですが、見直し後の投票所へ行けない方、お車での移動が困難な方について、曜日や時間の制約はありますが、従来の投票所で投票をしていただくことができる取り組みを考えております。また、地域の皆さんに周知し、投票行動に影響が生じないように努めてまいりたいと考えております。

### 【佐藤会長】

今、事務局長が言われたように、期日前投票を大いに活用していただきたいと思えます。それでは、意見や質問等が他に無いようですので、(1)市からの報告事項、「投票所の見直し」については以上といたします。永野事務局長はこの後、他の業務がございましたのでここで退席をしていただきます。本日は大変ありがとうございました。

続きまして市からの報告事項2点目について、大橋G長からご説明をお願いします。

### 【大橋G長】

市からの報告事項「柿崎ハマナスふれあいセンター温浴施設における地元住民への周知について」報告させていただきます。柿崎区総合事務所では区内の皆様への情報提供といたしまして、新たに10月から総合事務所だよりの発行を予定しており、その中で柿崎ハマナスふれあいセンターについても、お知らせをしていきたいと考えております。

～資料No. 2により説明～

【佐藤会長】

ありがとうございました。今、大橋G長から説明がありましたが、皆様から何か質問や意見等がありますか。

【曾田委員】

新たに事務所だよりを発行されるという事ですが、今までの行政のお知らせは、まちづくり振興会の「柿崎かわらばん」の一部に掲載されていました。それが無くなるということですか。

【小菅所長】

先日、まちづくり振興会の会長、事務局長と打ち合わせをさせていただきました。「柿崎かわらばん」につきましては、主にカレンダー的なお知らせ、共同で知っていただきたいような情報や地域振興事業などの記事が多かったと思います。その辺の趣旨はこれまでどおり継続してやっていきたいと考えております。その他に、行政として皆様にお知らせしなければいけない情報を、発信する機会が少ないのではないかと、偶数月を中心にできるだけ行政の情報を丁寧にお伝えしていきたいということで発行を試みるものでございます。

今のところ隔月で発行したいと考えておりますが、記事がある時はボリュームを多くし、少ない時は少ないなりの形で、丁寧に早く情報をお届けしたいと思います。今までの「柿崎かわらばん」の基礎は変えずに継続するというご理解ください。

【佐藤会長】

ありがとうございました。先回の地域協議会の時にも、住民の皆様への情報発信が少し不足しているのではないかと指摘がございました。総合事務所だよりで随時報告させていただくということでご理解していただきたいと思います。

【小菅所長】

補足ですが、今回発行する総合事務所だよりは、柿崎ハマナスふれあいセンターの記事だけではなく、各グループからいろいろな記事を掲載するというので、現在絞り込みをしています。

【佐藤会長】

ありがとうございました。他に質問や意見等が無いようですので、市からの報告事項3点目に入ります。

【横田次長】

市からの報告事項3点目といたしまして、「受付管理システム・受付処理完了ケース」についてご報告させていただきます。

～資料No. 3により説明～

【佐藤会長】

ありがとうございました。只今、横田次長からご説明がありましたが、皆様から何か質問や意見等がありますか。

質問や意見等が無いようですので、(1)市からの報告事項は以上とさせていただきます。

続きまして(2)会長報告に入ります。私から3点報告させていただきます。

まず、1点目としまして、これまで3地区において開催された出前地域協議会の中間報告をさせていただきます。

8月29日に下黒川地区において出前地域協議会を開催させていただきました。参加された住民の皆さんは22名です。9月4日の正直地区では25名、9月18日の柿崎地区では18名の参加がありました。

これまでの経過ですが、もう少し地域の皆様から参加していただければありがたいなと思いました。出前地域協議会において出された質問や意見を、いくつか紹介したいと思います。

まず、第1部の地域協議会の活動紹介については、「今まで、地域協議会は市長から諮問されて答申する機関であると思っていたが、区内の課題を自主的に審議するとい

うことで、これから地域協議会を活用したい。」という意見や、「無報酬であることについてどのように考えているか」「傍聴者が少ないが、どのように考えているのか」などの質問がありました。全体の総括はまだ先ですが、地域協議会に対する関心や理解が少しずつではありますが、深まっているのではないかと感じました。

第2部の「地域の重要テーマに関する意見交換」では、町内会長さんなど役員の方が多かったこともあり、避難行動要支援者の個別避難計画について「地域支援者になる人手がない」などの意見が多くありました。

今後、川西、七ヶ、黒川・黒岩地区において出前地域協議会を開催しますが、住民の皆様へ、わかりやすく説明するにはどのようにすれば良いか等、委員の皆様と考えていきたいと思っておりますので、意見がありましたら教えていただきたいと思います。また、出前地域協議会の中で出された質問については、出席委員の皆さんから進んで回答していただきたいと思いますと考えております。よろしくお願いいたします。

続きまして、報告事項の2点目に入ります。「地域活動フォーラム開催に係る事例発表候補者の推薦について」です。先月の地域協議会におきまして、今年度の推薦団体は正副会長及び事務局に一任とさせていただきました。正副会長で検討した結果、平成24年度から「黒川・黒岩ふれあい事業」を実施している16ピースさんを昨年に引き続き推薦したいと考えております。理由は、資料No.4のとおりです。

なお、16ピースさんにはすでに承諾をいただいております。それでは、平成26年度の地域活動フォーラム開催に係る事例発表候補者は、「黒川・黒岩ふれあい事業」の16ピースさんでよろしいでしょうか。

#### (委員から「異議なし」の声)

それでは、柿崎区では16ピースさんを推薦することといたします。

続いて、報告事項3点目に入りたいと思っております。頸北地区合同研修会についてです。現在の出席状況等について事務局から説明をお願いしたいと思います。

#### 【田鹿主事】

すでにご案内させていただきましたとおり、研修会では上越市財政課長から「上越市の財政状況について」、検証会議委員の山崎教授から「上越市地域協議会の一層の活

性化に向けた検証結果(中間報告)」についてお話いただきます。検証結果についての講義では、以前配付しました中間報告書が必要ですので忘れずにお持ちください。

会場は鶴の浜ニューホテルです。当日は送迎バスが運行します。午後1時25分に柿崎区総合事務所前を出発しますので、時間までにお集まりください。

なお、出席者ですが、本日が出欠の締め切りにさせていただいておりました。現在12名の委員の方から連絡をいただいております。研修会の出席者が4名となっております。せっかくの機会ですので、ご都合のつく限り研修会への参加をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。以上です。

#### 【佐藤会長】

ありがとうございました。この研修会につきましては、昨年開催しました頸北地区合同の意見交換会の中で提案をいただいております。良い機会ですので、皆さんから多くご出席をしていただきたいと思いますと考えております。

まだ出欠票を提出されていない方は、会議が終わりましたら事務局までご提出ください。よろしくお願いいたします。

それでは、報告事項(3)部会報告に入ります。はじめに、総務・地域振興部会、産業振興部会、教育・福祉部会の順に報告をお願いします。

#### 【小出委員】

9月17日に総務・地域振興部会を開催いたしました。地域活動支援事業にかかる意見・課題について協議しましたが、これについては次第4の協議事項の中で報告したいと思います。

また、地域協議会の研修として上越市が主催している「認知症サポーター養成講座」を委員全員で受講したらどうかということを検討しました。約1時間の受講でサポーターになれるということですので、部会として提案します。

#### 【金子委員】

産業振興部会から報告いたします。9月2日に部会を開催し、延期になっていた農・工・商業経営者との意見交換会の日程調整について協議をしました。3人の方と相談させていただき、11月11日(火)で快諾をいただきました。会場や詳細については

事務局等と打ち合わせをさせていただきたいと思います。以上です。

**【長井(洋)委員】**

教育・福祉部会の報告をさせていただきます。第4回の教育・福祉部会を9月11日に開催いたしました。

～資料No. 5により説明～

**【佐藤会長】**

ありがとうございました。それぞれの部会から報告をいただきました。私から皆様へお願いしたのですが、各部会長さんにつきましては、何を目的に何をやりたいのか明確にさせていただきたいと考えております。部会は自主審議事項等を模索することで設けたものであります。趣旨をご理解していただき、協議をしていただくようお願いをしたいと思います。それでは、(3)部会報告は以上とさせていただきたいと思います。

続きまして次第4の協議事項に入ります。地域活動支援事業に係る課題及び改善策等について検討を依頼しておりました総務・地域振興部会から説明をお願いします。

**【小出委員】**

市の地域活動支援事業の全体的に関わる課題と改善策についての報告を求められておりますが、最初は皆さんから個別に出していただいた課題を整理し、それぞれの課題を分類して協議しました。市へ提出するものが資料No. 6-1、今後柿崎区で検討すべき課題が資料No. 6-2であります。

～資料No. 6-1、6-2により説明～

本日お配りした資料につきましては、よく読んでいただき、次回以降の地域協議会においても整理し、継続して審議させていただきたいと思っております。以上です。

**【佐藤会長】**



ありがとうございました。地域活動支援事業に係る地域協議会からの意見・課題ということで、意見・課題が2点ほどありましたが、この内容で提出させていただいてよろしいですか。私も部会に参加させていただき、いろいろと意見交換をさせていただきましたが、地域活動支援事業は地域活性化のために必要であると考えますので、今後もこの事業を継続していただきたいと思います。

小出委員からお話があったとおり、資料No. 6-2を確認していただき、ご意見等をいただきたいと思ひますし、来年の事業の募集に間に合うように結論を出していきたいと思ひておりますのでよろしくお願ひいたします。

続きまして次第5のその他に入ります。事務局から何かありますか。

#### 【黒崎G長】

事務局から2点お願ひがござひます。1点目は交通事故等の注意喚起であります。現在、秋の交通安全運動が9月30日まで実施されております。先日、他区において、地域協議会に出席しようとして徒歩で会場に向かっていた委員が車にはねられる事故がありました。幸い、大事には至りませんでした。日が落ちる時間が早くなつてきています。特に夕方以降の会議開催の際には十分注意いただくよう、よろしくお願ひします。

また、柿崎区交通安全対策協議会の会議の中で、道路交通法改正による自転車の左側走行について、未だ一般市民に浸透していない状況であるとの柿崎交番署長から話がありました。交通指導員からも保育園児の送迎において、チャイルドシートをしていない車が見受けられるとの意見もありました。いずれにしましても、交通ルールの順守が安全第一に繋がります。委員の皆様には、交通事故に遭わない、起こさないように注意していただきますよう、よろしくお願ひいたします。

2点目は、すでに委員の皆様にご案内の「第6次総合計画に関する市民説明会」が、10月2日（木）午後6時30分より上越文化会館中ホールで開催されます。上越市の新たなまちづくりの指針を示す、政策・施策等の考え方について説明しますので、多くの委員の皆様からご参加いただきますようよろしくお願ひします。交通手段については、事務局では用意しておりませんので、個々にお願ひします。

#### 【佐藤会長】

ありがとうございました。その他にご意見ありませんか。

先ほど小出委員から、次回の会議が始まる前に委員研修として「認知症サポーター養成講座」を受講したらどうかとお話がありました。約1時間程度と言う事でございます。小出委員より説明がありましたらお願いします。

#### 【小出委員】

平成17年度から厚生労働省では「認知症を知り地域をつくる10カ年」キャンペーンが実施されており、上越市でも「認知症サポーター養成講座」を開催していますが、地域の人にあまり知られていない気がします。地域協議会の委員全員で受講することにより、地域の中での認知度を高めるという意味を含め、私達が研修する方が良いのではないかと思い提案させていただきました。約1時間程度ですので、協議会の前に開催ができたかと考えております。認知症は知識を持っていると早期対策ができ、地域で見守ることができます。普及、啓発の意味合いもありますので、ぜひ皆さんにご協力いただきたいと思います。

#### 【佐藤会長】

ありがとうございました。10月の地域協議会は昼間の開催です。地域協議会の開催前に研修会を約1時間受講したいと考えておりますがよろしいでしょうか。

#### 【小菅所長】

認知症サポーター制度というものを市では取組んでおります。自分たちの身の回りから認知症について理解していかなければならないということから、簡単な講座をグループ単位で受講していただくというものです。まずは地域協議会の委員の皆さんが見本となり受講していただいて、活動を広げていきたいと思っておりますのでご協力をお願いいたします。取り組みの趣旨がわかるチラシを事前に配付したいと思います。

#### 【佐藤会長】

ありがとうございました。次回の日程ですが、皆さまの希望があればお伺いしますがいかがですか。無いようですので、10月28日(火)、地域協議会は午後2時30

分より開始させていただきます。その前に認知症サポーター養成講座を午後1時30分から午後2時30分まで開催させていただきたいと考えています。会場は、地区公民館です。よろしくお願いします。委員の皆様から他に何かありませんか。

#### 【長井(泰)委員】

(仮称)厚生産業会館について、1年足らずで、総工事費が10億円増額ということが発表されました。大変問題であることだと思いますし、我々も説明を受けて協議する必要があると思います。(仮称)厚生産業会館については、1年前にも高田地区ではなく全市の問題であると地域協議会で述べたことがあります。これは全区で協議すべきものであると思いますし、協議の前にまず説明をしてもらわないと市民にも納得してもらえないのではないのでしょうか。地域協議会の皆様のご意見をお聞きしたいと思います。会長、いかがでしょうか。

#### 【佐藤会長】

この件については、高田地区の問題です。地域自治区の設置に関する条例に、区域内の重要な公の施設の設置については、その地区に諮問・答申するということになっております。議会でもいろいろと問題になっているようであるため、今後私たちの方にも何か報告があると思います。もう少し様子を見たいと思っておりますがいかがですか。

#### 【小菅所長】

地域協議会の諮問については、該当する区の住民生活に与える影響を、地域協議会へ諮問・答申するという制度であるため、今回の厚生産業会館(仮称)の建設における諮問・答申は高田区地域協議会で行います。しかし、委員の発言の中で、それらについて地域協議会で審議してみたいと、委員の皆さんがそうすべきだと考えるのであれば、自主審議することは大いに奨励されるべきということが考え方です。やり方については、例えば担当課に来てもらい勉強会を開催するなど、いろいろとあると思いますので、事務局を含めよく相談させていただきたいと思います。全員の意向に沿った中での開催が望ましいと考えております。

**【佐藤会長】**

今後、議会等で議題などの案が出てくるかも分かりませんが、柿崎区についても興味がありますので、木田庁舎の方から来ていただいて説明してもらいたいという要望があれば、後日説明会を開催させてもらいたいと思います。この辺でよろしいですね。

**【長井(泰)委員】**

まず説明を受ける機会を与えてください。

**【佐藤会長】**

今後、木田庁舎とも調整を行っていきたいと考えております。

**【渡邊委員】**

第二次安倍内閣が発足して、この29日から臨時国会が開催されます。安倍首相はニューヨークの国連総会に参加しているということで、記者会見の場で述べた話にも関わるのですが、次期安倍内閣の目玉は地方創生です。地方創生大臣は石破大臣ですが、記者会見の席で具体的な地方活性化策について手を挙げてもらえば国が支援すると発言されておりました。

上越市も新しい総合計画が策定されつつありますが、その中に、自主的審議事項のようなもので皆様から知恵を絞ってもらい、上越市へ若者を取り戻すような目玉の施策を提案し、国が行おうとしている重要な施策に乗っていく必要があるのではないかと考えております。

**【佐藤会長】**

あまりにも大きな問題であり、県がどういう考えを示すかということもありますので、この辺も様子を見ながら、皆様と協議をする機会があるかと思えます。

**【小出委員】**

渡邊委員の意見に賛成です。上越市は国の方針に従って14市町村の大合併をしました。柿崎区においても人口が減少し、合併をして周辺が疲弊している現状があるわけです。そのような中で、大合併した上越市から地域創生というものに手を挙げてい

くことが相応しいのかなと思いました。

**【佐藤会長】**

そのような考え方もあるかと思いますが、皆様と勉強していきたいと考えております。

**【小菅所長】**

人口が少ないと地域の活性化は無く、東京・大阪に集中している人口をいかに地域に分散させ、どのように地方を活性化していくかということで石破さんが地方創生担当大臣になられたということです。ただ、どのような規模でどう展開しようかという具体的な話はまだ出ておりません。

このような状況で、上越市で声をあげた時に、国の政策と合っているのかということ、また、総合計画もそれに合わせて見直すのであれば、何年も待たなくては行けないということです。

地域活性化の議論は区単位でも当然必要ですが、国がどう捉えるか、情報収集をしっかりに行わなければなりません。想像で議論するのではなく、市として情報収集に努め、情報提供できるものは皆さんにお伝えしていきたいと思います。時間軸に沿った形で検討していくかを考えることが現実的だと思います。

**【小出委員】**

ありがとうございます。行政的には情報収集や分析をしてどういうふうに進めるかということになりますが、地方が必要としているものを逆に提案する発想があっても良いと思います。

**【小菅所長】**

そのような意味で言えば、各省庁や知事会、全国の市長の集まりなどの地方から声をあげる仕組みがあり、当然いろいろなやり取りが出てくると思います。皆様の声も上越市を通じて反映されていくべきものだと思いますが、今はあまりにも材料が無いという状態ということをご承知おきください。

### 【渡邊委員】

情報収集をお願いしたいのですが、安倍首相の記者会見において、十日町市が登場しておりました。これが地方創生の内容で出ているのか、聞かせていただきたいのですが。

### 【小菅所長】

今、この場ではわかりませんので調べたいと思います。

### 【佐藤会長】

内閣改造されてから期間が短く、これから各知事や各市町村の会議もあるようがございますので、そこでどのようなものが出てくるか、様子を見たいと考えております。

それでは、以上をもちまして第7回の地域協議会を閉会させていただきます。ありがとうございました。

(午後8時15分 閉会)

## 9 問合せ先

柿崎区総合事務所 総務・地域振興グループ TEL : 025-536-6710 (直通)

E-mail : kakizaki-ku@city.joetsu.lg.jp

## 10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。